

8部

卒業と
資格・免許状
取得のために

1 // 平成24年度(2013年)3月卒業希望の方へ

1 卒業式(学位記・卒業証書授与式)について

日時 平成25年3月22日(金) 12時40分までに集合してください

12:15~12:40 集合(集合教室は3/10の手紙で案内予定)

13:00~13:45 卒業式(学位記・卒業証書授与式)

14:15~15:30 卒業パーティー(立食形式を予定)

場所 式典:東北福祉大学 福聚殿 謝恩会:レストラン風土

※式典は通学課程と合同で開催します。

卒業者は是非ご参加ください。本学では卒業式を正式には「学位記」(=卒業証書)を授与する式として「学位記・卒業証書授与式」と呼んでいます。また、卒業パーティーは教職員も参加します。詳細は、卒業確定者に3月10日ごろお送りする「卒業決定通知」に同封させていただきます。

- 「学位記」(=卒業証書)に記載する本籍地や氏名のご確認をお願いいたします(11~12月のいずれかの時期に確認依頼を郵送済です)。
- 「学位記」(=卒業証書)の郵送授与を希望する方 3月22日以降の発送になります。3月10日以降のご案内にそって、手続きください。

2 卒業までのスケジュールについて

『With』87号(11月号)p.69~70に記載がありますので、ご確認ください。通信教育部からは3月卒業登録者の方に対して、2月8日・3月10日ごろ履修状況票をお送りさせていただきます。卒業試験受験者で卒業を延期する方は、巻末の「卒業延期願」を1月31日までに提出してください(p.50のとおり、学費納入依頼書の発送を円滑に行うためです)。

2 平成25年度(2013年)9月卒業希望の方へ

9月卒業希望者は2月科目修了試験以降、「卒業試験」が受験可能です。
希望者は今号以降の『With』3部をご覧ください。

3 社会福祉士 取得希望の方へ

社会福祉士関連の演習・実習のメールによるお問合せは、uj@tfu-mail.tfu.ac.jpまでお願いいたします。

1 発送物のご案内

実習審査結果通知 判定日11/30・12/20で申込みが受理された方
→1/10までに発送済

※判定日1/20・2/20の結果の発送予定日は、『With』88号p.86
をご覧ください。

「★■実習指導A」スクーリング受講許可証

(「第2分冊」・「課題ノート」含む) 実習審査結果に同封

実習内諾通知 内諾がとれ次第発送

「★■実習指導B・実習」「◆実習指導(事後)・現場実習」結果通知

(2月開催分) 3/2発送予定

「★■演習B」「◆演習II」結果通知(11月受講分) 12/5発送済

(12月受講分) 1/9発送済

「★■演習C」スクーリング受講許可証(2月開催分) 12/23発送済

2 「社会福祉士国家試験」を受験された方へ

● 「国家試験受験番号連絡票・国家試験証明書申請用紙」の提出について
受験後必ず標記の「連絡票・申請用紙」（『社会福祉援助技術実習の手引き【第1分冊】（様式13）または『学習の手引き』巻末様式5）を2/8までに提出してください。何らかの理由で国家試験を受けなかった場合も2012年2～12月の間の実習受講者は必ず提出するようにしてください。冊子版が見当たらない方は通信教育部ホームページ『学習の手引き』欄よりダウンロードしてください。

「連絡票・申請用紙」に基づき、3/22（卒業日）以降に「社会福祉試験・振興センター」へ大学で一括して「社会福祉士指定科目履修証明書（卒業証明書を含む・国家試験受験用）」を送付します。証明書の発行手数料、返信用封筒は不要です。

※3月中旬の合格発表で合格者名簿に受験番号があっても3月末までに卒業しない場合は、合格が取り消されます。

※3月卒業者の試験センターからの合格通知は3月末ごろ到着するものと思われます。

3 「★社会福祉援助技術実習」（平成25年6月24日～10月11日）または「◆社会福祉援助技術現場実習」（平成25年7月～12月期）の実習を希望されている方へ

10月末実習申込者で受講判定日までに受講条件を満たした方から順次実習依頼を行っております。実習希望機関から、「内諾回答書」（実習を受入れるという回答書）が大学に到着次第、「内諾回答書」の写しを送付いたします。到着後は、内諾回答書の内容を確認するとともに、『社会福祉援助技術実習の手引き【第1分冊】（2012年度版）p.29（新カリキュラム）またはp.48（旧カリキュラム）または、p.62（科目等履修生）を必ず確認し、各自行うようにしてください。

なお、実習前の5月ごろ受講いただく「◆社会福祉援助技術現場実習指導(事前)」スクーリングの申込用紙は個別に送付いたします。「★■社会福祉援助技術実習指導B-1」+「★■社会福祉援助技術演習C-1」の申込用紙は「■★指導A」スクーリング時に配付します。

4 「★■演習B」「◆演習II」申込みについて

3/15締切のスクーリング申込みを希望する方は、本冊子巻末「演習科目スクーリング申込用紙」に必要事項を記載して通信教育部あて郵送、または持参によりお申込みください。

開講日 5/25・26 (仙台：本学)
6/22・23 (長岡：長岡こども福祉カレッジ)

受講料 10,000円

申込締切 3/15必着

受講条件 「★■演習B」『レポート課題集2013(社会福祉編)』p.144～145
「◆演習II」『レポート課題集2013(社会福祉編)』p.195～196

事前課題 『レポート課題集』各科目1単位めのレポートは3/15(定員に余裕のある場合は3/31または4/15でも可)までに提出。事前課題を提出しないと受講条件達成になりません。

受講許可結果・受講料納入依頼書発送予定日 3/15条件達成者→3/25 3/31条件達成者→4/10 4/15条件達成者→4/25 (条件を達成したが通知が届かない方は上記より3日以内にお申し出ください)

スクーリング受講上の注意点 『レポート課題集』各科目欄参照。なおこの演習科目はスクーリング試験(持込不可)を実施しますが、この試験に合格しないと実習の申込が受理されません。

ご留意点 本年9月実習申込予定者は9/15締切の「★■演習B」「◆

演習Ⅱ」を受講（開講予定日は p. 76参照。仙台以外に札幌、盛岡、東京、新潟で開講予定）で間に合います。

5 実習免除者・科目等履修生の「★■演習C」スクーリング申込みについて

新カリキュラム実習免除者の方および来年度以降に科目等履修生を希望する方は、本冊子巻末の「【新カリキュラム実習免除者・来年度以降の科目等履修生希望者用】「■★社会福祉援助技術演習C」スクーリング申込用紙」を4/1までに提出してください。

4 精神保健福祉士 取得希望の方へ

1 「精神保健福祉士国家試験」受験について

●「国家試験受験番号連絡票・国家試験証明書申請用紙」の提出について
第15回精神保健福祉士国家試験の受験を予定されている方は、標記「連絡票・申請用紙」（『精神保健福祉援助実習の手引き』巻末の【様式12】または『学習の手引き』巻末様式5）を2月6日(水)までに必ず提出してください（今年度受験をしなかった方も必ず本用紙にて報告してください）。冊子版が見当たらない方は通信教育部ホームページ『学習の手引き』欄よりダウンロードしてください。

「連絡・申請用紙」に基づき、3月22日以降に「社会福祉試験・振興センター」へ大学で一括して「精神保健福祉士指定科目履修証明書（卒業証明書を含む、国家試験受験用）」を送付します。申請料・返信用封筒は不要です。

※3月中旬の合格発表で合格者名簿に受験番号があっても当年度に卒業

しない場合は、合格が取り消されます。

※3月卒業者の試験センターからの合格通知は3月末ごろ到着するもの
と思われます。

2 平成25年度7月～12月期の実習を希望されている方へ

11月末実習申込者で受講条件を満たした方から順次実習受入の内諾依頼を行っています。判定日が後になるほど単位修得しなければならない指定科目数が増えてきます。判定結果通知日までに通知が届かない方は、次の判定日の単位修得条件を満たす必要があります。再度、今後の科目修了試験、スクーリング日程、演習事後レポートの提出を含めたレポート作成計画を確認し、2/20の最終判定日までに受講条件を満たすよう学習を進めてください。

3 「◆★精神保健福祉援助演習」について

●「精神保健福祉援助演習」を受講済の方へ

今年度、精神保健福祉援助演習を受講された方の事後レポート提出期限は、1月20日で締め切りました。成績通知は2月中旬に郵送にて行います。

●次回の「精神保健福祉援助演習」申込みについて

次回の演習申込締切日は3月15日(金)です。

「精神保健福祉援助演習」平成25年度6・7月開講（3月15日締切）のスクーリング申込方法は下記のとおりです。

「精神保健福祉援助演習」のスクーリング申込みを希望する方は、本冊子巻末「演習科目スクーリング申込用紙」に必要事項を記載して通信教育部あて郵送または持参により、お申込みください。

また、受講希望日の「精神保健福祉援助演習」希望者が10名以下の場合

は、もう一方の日程にまわっていただきますので、ご了承ください。

開講日 6/1・2(土・日) または 7/13・14(土・日)
いずれか1回 2日間連続8コマ(ガイダンスを含む)
を受講

開講時間 1日め 10:50~17:30 2日め 9:30~14:40

会場 仙台のみ(東北福祉大学)

受講料 10,000円 スクーリング単位 1単位

申込締切 3月15日必着

スクーリング受講条件 『レポート課題集2013(社会福祉編)』 p.
236・237

事前課題 「精神保健福祉援助演習」1単位めのレポートは3/15(遅くとも4/15まで)に提出。事前課題を提出しないと受講条件達成になりません。ご注意ください。

受講判定結果・受講料納入依頼書発送予定日 4/15の受講判定後、
4/25に判定結果・納入依頼書を発送いたします(条件を達成したが通知が届かない方は上記より3日以内にお申出ください)。

4 「■精神保健福祉援助演習A」受講希望の方へ

平成25年2月16・17日の「■精保演習A」の受講申込みは、既に締め切りました。申込みを行った方は、『With』86号p.80の2)の受講条件を満たすよう学習を進めてください。※平成24年度に限り4月生も上記の条件が適用されています。次回申込締切は4月末予定です。

次期開講の「■精保演習A」(平成25年6/29・30または7/6・7)に関する詳細は次号の『With』90号にてご案内いたします。平成25年度に「精保実習A」の受講を希望される方の申込期日は4月末です。上記申込締切日までに『レポート課題集2013(社会福祉編)』p.232に記載されて

いる条件を満たすよう学習を進めてください（平成24年10月入学生には『With』86号 p. 80の2）の受講条件の緩和が適用されます。

5 教職免許状 取得希望の方へ

1 実習の受講を目指す方へ

高等学校教諭一種免許状（福祉）取得希望者の「介護実習」、教育実習」、また特別支援学校教諭一種免許状取得希望者の「障害者（児）教育実習」ともに下記の3つの段階で受講条件をクリアすることが必要です。

- (1) 実習のための内諾依頼状発行時点
- (2) 事前指導スクーリング申込み時点
- (3) 事前指導スクーリング後の実習のための正式依頼状発行時点

(1)と(2)はどちらが先でもかまいません。『レポート課題集（心理・教職編）』各科目欄記載の条件をご確認ください。

2 「障害者（児）教育実習の事前・事後指導」 「教育実習の事前事後指導」の受講を目指す方へ

3/30・31の「障害者（児）教育実習の事前・事後指導」および3/23・24の「教育実習の事前事後指導」の受講申込締切は2/28必着です。事前指導スクーリング受講希望者は、条件を確認し2月試験受験者のレポート提出期限2月7日(木)もふまえながら学習をおすすめてください。

受講申込ハガキ（本冊子巻末）および「麻疹の抗体を有する旨の医師の文言が入った証明書のコピー」は、受講申込締切日2/28までに通信教育部にお送りください。

スクーリング・アンケートから(2)

●介護概論

- ・老いは誰しものが訪れるものであり、幸福に老いていけるように社会全体が向くよう、社会の一員として今後も学んでいきたいと思えます。
- ・自己決定、実現、その人らしさなど、理解の難しいことがたくさんあって、奥が深いと思えます。考えるほど分からなくなってきました。先生のお話は面白く聞いていました。
- ・N Oと利用者と言うことは、自分の能力にN Oと言うのと同じだとおっしゃっていましたが、その場面で、もう一度自分の行動や、考え方を問い直そうと思いました。
- ・介護の現場においてQ O Lの向上をめざした、個人々人への生活支援は、非常に重要であると痛感しました。十人十色、多種多様なニーズを持つ一人一人を支援するには、幅広い知識と職業倫理などが必要であると感じました。

●高齢者福祉論

- ・介護保険などの制度や歴史についての説明が主なのかと思ったが、今後将来をふまえた高齢者をとりまく政策について、身にせまり分かりやすかったと思えます。全てのしわよせが結局、提供される介護を受ける方々にかかってしまい、何のためのサービスなのか本末転倒になってしまうことを知りました。誰のため、何のためのサービスなのか決して忘れてはいけないと思えました。

●聴覚障害教育

- ・インクルージョンの考え方や制度や思想と、現在の教育システムが噛み合っていないこと等、本当に勉強になりました。
- ・どんなに障害が重度の人も、ことばのない人はいないという話が印象的でした。どんな障害があろうと本質的な部分は一緒であり、気持ちの変化や表出はそれぞれで、大事なのは、そのことばをきちんと受け取り理解すること、しようとする聞き取り側の態度であると感じられました。今後活かしていきたいです。

●産業カウンセリングⅡ

- ・深い人間の存在への肯定感といったもの、人の存在をありのまま受け入れる

柔軟性など、カウンセラーに必要な資質とは何かを考えさせられた。

●心理アセスメント

- ・アセスメントが上達すると心理的援助も上達するという言葉が印象的でした。
- ・病態理解と、各々の病態における患者（クライアント）心理についての講義が印象に残った。
- ・異常を相対的なものとしてとらえる。異常を正常の領域から考えていく。通常は異常にだけ目が向くところを、正常の中の異常に視点をおくという心理臨床家の視点を学んだ。

●カウンセリングⅡ

- ・先生が私たちのワークの結果発表を聴く時の姿勢（発表者をしっかり見る、相づちを打ち「そうですねえ」などの言葉を入れるなど）が「ちゃんと聴いてもらえている」と思えて、話していても気分がよかった。これが人の話の聴き方なのだった。
- ・カウンセリングに深い内容があり、難しさを知ることができた。
- ・クライアントの立場からカウンセリングを見ることが大事で、クライアントがどのように感じるのかということを考えると、クライアントの心に寄り添えることになるのではないか、と感じた。
- ・「カウンセリングとはふたつとして同じプロセスはない」「カウンセリングは成長モデル、心理療法は治療モデル」という点が印象に残った。

●心理学研究法Ⅰ

- ・研究とは、ただやみくもにデータを集めてあれこれするわけではなく、仮説を立て目的を定め、仮説が正しいものか検証すること。
- ・何が知りたいかを明確にすることと、研究者倫理の問題で、心理学研究の難しさが理解できた。

●福祉リスクマネジメント

- ・リスクを回避するだけでなく、いかにリスクを軽減し、そのリスクをどのように対応するかによって、現場で働く職員などのリスクに対する意識が変わるということを考えさせられました。

●特講・社会福祉学14(災害福祉論)

- ・課題が次々と生まれている学問なのだと思います。

- ・災害への準備が大切で、できない理由を並べている時間はないというのに、人々の意識が低い点が問題だと感じた。
- ・被災者は誰でもなりうる可能性がある。
- ・災害など緊急時の援助について、災害弱者となりやすい高齢者、障害者、乳幼児、妊婦、けが人などへの配慮やその方たちを含めた公平な支援が必要になると感じました。そのような方々への理解、ニーズの把握と援助のマッチング、情報の共有、普段からみんなが住みやすい優しい町づくりなど、やるべきことがたくさんあるなあと考えさせられた。

●特講・社会福祉学13(福祉産業論)

- ・産業分野に福祉が位置されていることを学びました。モノをつくるだけが産業ではなく、社会全体がさまざまな産業を生み出していくことが必要であることも考えさせられました。
- ・人口が減少していく社会では高齢者の存在が大きくなっているが、まだまだ高齢者のニーズを満たしているとは思えない。逆に考えれば、チャンスは多いのかもしれないと思った。
- ・復興支援でいろいろなプロジェクトが行われている。フランスに輸出されているものもあると聞いてスゴイと思った。
- ・仮設から出た後の自立できるところまでを復興というのか、どこまでの支援が必要なのか考えさせられた。